

令和7年度学校評価自己評価結果(自己評価は、ABCの3段階で実施)

水俣市立水東小学校

重点	具体的実践事項	指標	指標の結果	職員自己評価	アンケート(平均)		自己評価	取組状況 (○成果 ●課題)	改善策	自己評価の妥当性	ご意見等	
					児童	保護者						
1 豊かな心の育成	「愛の123運動」+1の実施	○i-check「先生に褒められたことがある」で肯定的な回答の児童【95%以上】 ○心のアンケート「いじめられたことがある」で該当の児童【5%以下】	○100 6.4	3.3	3.9	3.6	A	①「きらりカード」の取組は、各学級担任や委員会担当の働きかけにより、効果が見られた。 ②人権宣言「絶対いじめのない水東小にするために」を全校児童で話し合っで決め、2学期の人権集会で振り返りと今後の取組について話し合った。 ③保護者に対して、道徳科や人権学習の授業公開にとどまらず、児童の感想を紹介するなどの啓発が不足していた。	⑥人権教育推進委員会を定期開催し、啓発についても計画を立て、実施できるようにする。併せて、特別支援教育委員会、いじめ不登校対策委員会についても、計画的に開催していきたい。	妥当 6人 要修正 0人	特になし	
	UDの視点による授業の実施	職員の教育反省の評価【平均3.3以上】	○3.6	3.6								
	「熊本の心」等を活用した授業展開	○i-check「自分には良いところがある」で肯定的な回答の児童【75%以上】 ○心のアンケート「だれかの役に立っている」で肯定的な回答の児童【85%以上】	○88.9 87.2	3.6								
	学習内容等の保護者や地域への啓発	児童アンケートで肯定的な回答をしている児童の割合【90%以上】	○98.8	3.8								
	3A運動(あいさつ、あつまり、あとしまつ)プラス1(ありがとう)の推進											
2 確かな学力の育成	単元のゴールの姿をイメージした学習計画の立案	心のアンケート「授業がよく分かる」で肯定的な回答の児童【95%以上】	○95.7	3.5	3.5	3.5	B	④全教員による研究授業の実践を通じ、授業改善のサイクルが定着した。県学力・学習状況調査では、ほとんどの学年において、正答率が県平均を上回るなど着実な成果が得られた。 ⑤タブレットや自主学習ノートでの家庭学習を通して基礎学力の充実を図り、一定の成果を得ることができた。 ⑥「水東タイム」の活用は、全職員で継続的に実施でき、成果につながってきている。 ⑦読書活動の推進については、読んでいる児童と読まない児童があり、個人差がある。	⑦読書の推進については、今までの取組を再点検しながら、児童の肯定的な意見の向上を図っていく。	妥当 6人 要修正 0人	・読み聞かせについては、上級生から下級生に向けても行ってみたいかどうか。 ・本に親しむ環境づくりが大切である。 ・読書活動の充実を期待する。 ・手触りを感じる「本」での読書は、ますます重要になってくる。 ・話題となった読書量については、目標設定の見直しが必要ではないか。 ・ICT化への対応はよくできている。本校に限らず、「身体知」の感覚を養う機会が失われてきているようだ。	
	一人一人の学びの保障											
	ICT機器を活用した授業づくり											
	ノートコンクールの確実な実施	職員の教育反省の評価【平均3.5以上】	○3.6	3.6								
	「水東タイム」の活用による個に応じた指導											
	県学力・学習状況調査等の問題活用	児童の読書に関する肯定的な評価【80%以上】	×75.0	3.4								
	本に親しむ環境づくり	i-check「計画を立てて勉強をしている」で肯定的な回答の児童【80%以上】	○100	3.6								
3 健康な身体力の育成	運動量の確保、めあて学習の充実	職員の教育反省の評価の平均【3.3以上】	○3.4	3.4	3.7	3.5	B	⑧新体力テストの結果を受け、課題があった運動を授業の一部に取り入れるなど体力向上に努めた。加えて、2回の新体力テストの実施も効果的であった。 ⑨学期初めの身体測定時の生活リズムや風邪の予防などの保健指導等、各学年年間4回ずつの充実した保健指導を実施した。 ⑩縦割り班遊びを設定するなど、外遊びの啓発を行っているが、個人差が見られた。 ⑪家庭へのう歯の処置を働きかけ、処置率が100%に達した。	⑩運動の意義について学年に応じた指導を行い、外遊びの啓発を更に行っていきたい。	妥当 6人 要修正 0人	・給食の献立について、食の食べ合わせ的に疑問に思うことが目立った。	
	新体力テスト結果の活用	児童の運動に関する肯定的な評価【90%以上】	×86.4	3.8								
	全校体育の実施と外遊びの励行	う歯の未処置者への働きかけ【3.3以上】	○3.7	3.7								
	疾病治療に関する日常的な保健指導	i-check「毎日朝食を食べている」で肯定的な回答の児童【95%以上】	○95.4	3.5								
	給食と教科等を関連させた活動の充実											
	家庭との連携・啓発活動の充実	児童アンケート「決まった時刻に寝ている」で肯定的な回答の児童【85%以上】	○97.7	3.8								
	早寝、早起きの取組											
推 進 者 連 携 ・ 協 働 の	学校運営協議会「水東つ子育成協議会」の推進	保護者の連携・協働に関する肯定的な評価【3.3以上】	○3.7	3.5	3.7		A	⑫八区合同運動会や創立150周年記念式典など、地域の方に支援いただき、貴重な体験の場を設定することができた。 ⑬積極的に学校ホームページを更新することで、保護者が学校内での出来事を知る機会となった。	⑭餅つき踊りの継続を含め、地域と連携した学習活動等について実施可能な取組を模索していく。	妥当 6人 要修正 0人	・餅つき踊りの取組は継続してほしい。 ・ボランティア活動の充実を図ってほしい。	
	積極的な情報公開(学校ホームページ等)											
5 環境教育の推進	校内や学級内掲示の工夫	計画に沿った栽培活動の実施率【90%以上】	○92.5	3.7	3.7		B	⑭安全点検を確実に実施し、可能な限り、学校において改善を図るべき場所には、対応できた。加えて、教育委員会と連携し、改善を図ったケースもあった。 ⑮学校版環境ISOについて、児童主体の活動となるよう心がけてきたが、更なる工夫が必要である。	⑯委員会活動の内容を見直し、学校版環境ISOとSDGsを関連付けた取組を設定していく。	妥当 5人 要修正 A:1人	・修繕については、緊急を要するものは市教委で対応している。	
	計画的な栽培活動、地域との連携	計画に沿った安全点検の実施率【100%】	×90.0	3.6								
	定期的な安産点検の実施と事後措置の確認	計画に沿った避難訓練の実施率【100%】	×92.5	3.7								
	備品等の整備・整理、校舎内外の整備											
推 進 者 連 携 ・ 協 働 の	校内の健康への配慮	自己の働き方改革の実施率80%以上の職員【80%以上】	○85.0	3.4			A	⑰ボトムアップ研修の実施により、職員の不祥事防止や働き方改革の意識は高まってきているが、学校外への啓発が不足している。	⑰留守番対応電話やオンラインでの欠席届の継続、PTA総会での説明等を行い、地域や保護者への理解を深めていく。	妥当 6人 要修正 0人	特になし	
	業務の精選・効率化											
	学校外への啓発											